

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2021/2/11
所属学部・ 研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科

1. 留学先について

留学先大学名	University of Prince Edward Island										
留学先所属学部等	Faculty of Business										
留学期間	出発日	2019/8/26	入学日	2019/8/27	修了日	2020/4/16	帰国日	2020/3/30			
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>	その他()						
	通学時間	5分					On campus				
	通学方法	徒歩									
	居室スペース	個室	<input type="radio"/>	(2) 人部屋	<input type="radio"/>	その他()					
	共有スペース	完全個室	<input type="radio"/>	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	バス	<input type="radio"/>	リビング	<input type="radio"/>
食事	自炊	%	学食	100 %	外食	%	その他	%	()		
保険	海外旅行保険(名称)	AIG損保 海外旅行保険									
	派遣先大学指定の保険(名称)	guard me						<input type="checkbox"/> 強制加入			
	その他										
渡航ルート	ex.) 成田⇔シカゴ(飛行機)⇔ウィスコンシン(電車)										
	成田 ⇔	バンクーバー(飛行機)	⇔	モントリオール(飛行機)	⇔	プリエドワードアイランド	⇔	ド(飛行機)			

2. 留学にかかった費用について

総費用		100万 円		
出どころ				
自費	<input type="radio"/>	貯金 28万 円	アルバイト 円	その他 円
援助	<input type="checkbox"/>	両親 円	家族・親戚 円	その他 円
奨学金	<input type="radio"/>	JASSO 72万 円	その他名称()	円
その他	<input type="checkbox"/>	その他()		円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金 3万 円	その他()	円
留学中	<input type="radio"/>	海外送金 <input type="radio"/>	キャッシング	その他()

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	海外送金またはキャッシング
住居にかかった費用	海外送金またはキャッシング
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	CAD	3,500	20万	円
海外旅行保険	CAD	100	5万	円
OSSMA			1万	円
査証・在留許可証			5千	円
住居	CAD	800	60万	円
食費			(住居込み)	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費	CAD	600	5万	円
その他大学に支払った経費			4万	円
光熱費			(住居込み)	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			○	有	無
1 Marketing	正規	3	○	有	無
2 Intro Entrepreneur, Small Bus.	正規	3	○	有	無
3 Computer Science	正規	3	○	有	無
4 Introductory Microeconomics	正規	3	○	有	無
5 Intr Commuty Climate Prog Tech	正規	3	○	有	無
6 Climate Policy on Envrn Manag	正規	3	○	有	無
7 Cultural Anthropology	正規	3	○	有	無
8 Computer Science II	正規	3	○	有	無
9 Intro to Journalism and Media	正規	3	○	有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

登録期間に関しては基本的に前期後期開始前後に設けられているが、前期に登録しておかないと後期には席が空いていない場合が多い。関連する成績の優秀度によって取得できるかが決まることもある。

登録方法はweb上、または直接留学生課に相談できる。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業形態としては少数クラスが数多いという印象だった。

さらにやはり海外の授業では教授も、学生も活発的に議論、質疑応答していた印象だった。

3-3. 語学力について

カナダの学校ということもあり、語学力は留学生も含め押し並べて高い水準だった。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は週7で空いており、多くの学生が利用していた。机に脚を載せている学生もあり少し違和感を感じた。

9時ぐらいには閉まっていた。

そのほか各学部施設は研究院やそのほか教授の為に24時間解放されているところが多かった。

3-5. その他

--

4. 生活面

4-1. 住居について

住居はブランチャード寮を利用していたが、基本的に綺麗だった。

ルームメイトも割とキレイ好きであった為、整理整頓に関してはあまり困ることはなかった。

4-2. 食生活について

食生活に関しては肥満体型にならざるを得ないものばかりが基本的にサーブされていたので、できる限り野菜を食べるようにしていた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

学内インターネット(Panther net)があった。

携帯電話は現地でsim契約した。

4-4. 服装について

私服

4-5. 健康管理について

病気にはかかることがなかった。

スーパーの食べ物で食中毒にもなった。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

千葉大学で求められた危機管理サービスのOSSMAと、そのほか海外旅行保険の他に、“guard me”というINSURANCEに現地大学から加入要請された。

4-7. 課外活動について

希望であれば参加できるイベント、クラブ活動などがあった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

Buddy Programでは学外の人(大学出身者)との関わりを広めていった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

思いつかない

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

キリスト教がもちろん多いわけであるが、例えば食前に大勢が集まった際には神、周りの人に感謝する、という流れがある時があった。

食事に際して音は立てない方がいい。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

特になし

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

ジムへ通っていた。

5. その他

5-1. 留学先大学について

大学は外見がきれい、基本的に静かで過ごしやすい。

しかしダウンタウンと少し離れており、バスを乗るしかないので大変かも。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

不安や期待であふれかえっていると思いますが、その限られた時間をいかに自分のモノにするかは自分次第なので頑張ってください。

5-3. 留学を終えて

長期留学をもともと大学活動の中の目的の一つとしていた為、やってよかったと思った。さらに友達関係や大学の勉強はもちろん有意義だったが、そのほか必要な手続きなどはもしかすると事前に簡略化するよりも、自分で試行錯誤して挑んだことによって自分の成長につながったかもしれない。